

教育・学術支援

世界最先端の技術力をもつメーカーとして
次世代を担う若者たちの育成を支援します。

子ども向けの実験プログラム

東京の科学技術館で「光のじっけん室」を開催

キヤノン(株)は公益財団法人日本科学技術振興財団と連携し、子ども向けの実験プログラム「光のじっけん室」を開催しています。

この活動は子どもたちが楽しみながら学ぶ場を提供し、科学や技術へ関心をもつきっかけをつくることを目的としたもので、キヤノン製品に搭載している「光学技術」について、カメラの歴史やさまざまな実験を通してわかりやすく説明しています。

同財団が運営する科学技術館(東京)の「実験スタジアム」におけるプログラムの一つとして実施しており、2015年は年間でのべ約1万人が来場しました。



科学技術館で開催されている「光のじっけん室」

光学技術者の育成支援

産学連携により、光学技術の教育環境をサポート

光学技術は主要産業を支える基盤技術の一つですが、日本では体系的に学ぶ機会が減少しています。そこでキヤノンは、光学技術研究所を擁する宇都宮事業所と地域的なつながりの深い宇都宮大学に働きかけ、同大学内における「オプティクス教育研究センター」の設立を支援しました。

2015年4月には、産業界の求める実践的光工学を習得した人材を育成するため、同センターの協力によって、同大学院の工学研究科に「先端光工学専攻」が新設されました。現在、第一期生22人が「光の時代」といわれる21世紀の光学技術者をめざして学んでいます。

キヤノンは、今後も光学技術の発展に向け、同センターを継続的にサポートしていきます。



オプティクス教育研究センターの実験室